# 県労連 あおもり

2014年１月５日　第280号

発行所　青森県労働組合総連合（青森県労連）
〒030-0852 青森市大野若宮 165-19　Tel 017-762-6234

発行人　青森県労働組合総連合（毎月５日発行）定価10円
1992年10月30日　第三種郵便物認可
本紙の購読料は組合費に含まれています。


# 確信と勇気を持って 新たな闘いへ前進を

## 新年のあいさつ

県労連議長　奥村　榮

秋の臨時国会で暮れた昨年。公約でも、国会所信表明でも一切触れなかった「特定秘密保護法」。会期途中で突然提案、国民の反対の声を完全に無視し、ファッショ的暴挙を重ね成立。安倍内閣の危険な反動体質が如実に表れ新年を迎えました。確信と勇気を持って新たな闘いへ。奥村県労連議長の新年のあいさつを届けます。

奥村　榮 議長

一万五千人が国会を包囲し「特定秘密保護法」強行採決反対の声を上げた。翌日「嵐は過ぎ去った」と安倍首相は語った。主権者である国民の叫びは、自然災害なのか？国民の声を聴こうという姿勢は微塵も感じられない。

意見の違いは存在する。だからこそ、徹底論議が求められるのである。国民の多数の声を無視し、数の力で強行する「ファッシズム」国家が形成されようとしている。反対に立ち上がったのは、革新勢力だけではない。保守派といわれる多くの人々が声を上げた。そこには、自らが投票した自公政権が、その意思とは全く違う方向に進み、自らの人権を侵害しようとしていることへの「怒り」が存在した。

一昨年12月の衆議院選挙、昨年7月の参議院選挙で、自公は大勝利し、衆議院では3分の2、参議院では安定過半数を得た。しかし国民は、両党に「白紙委任」を与えたのではない。彼らは、消費税、TPP、普天間、改憲、原発を争点にして国民に信を問うたのか？否である。TPPに関しては、明確に反対と主張し、他の争点は徹底して隠し続けた選挙で得た議席である。

国会議員は「全国民を代表する選挙された議員」である。「全国民を代表」したといえるためには、国民に十分な情報を提示し、自らの主張を述べ、公平な選挙制度で選出されなければならない。５大争点を隠し、ウソをつき、不公平な選挙制度（自民の比例投票率27・6％、小選挙区制で43％の得票で79％の議席）で得た議席である。

安倍政権の局面での勝利は、国民との矛盾を深め、国民から孤立へと向かう道である。しかし、その道は敷かれているのではなく、我々が切り開いて行かなければならない道である。

国民の嘆きを怒りに、怒りを行動に転嫁させていく運動が求められている。待ってはいられない。国民の声に根差し、国民的協同をさらに広げる闘いに直ちに立ち上がろうではないか。

## 県春闘共闘が総会
### 2月22日に決起集会

12月6日夜、県労連会館会議室で、県労連加盟組合と農協労組から20名が出席して、「2014年春闘県共闘会議前期総会」を開催しました。

農協労組の前田晴茂書記長を総会議長に選出し、議事を進行。共闘会議議長の奥村県労連議長は主催者挨拶で、ちょうど「特定秘密保護法案」が参院本会議で安倍内閣の暴挙で強行採決されようとしていた緊迫した国会内外の情勢に触れました。次いで、田中事務局長（県労連事務局長）が議案提案。賃上げ要求は、誰でも月一万六千円以上、時給百二〇円以上。最賃要求は時給千円・日額八千円・月額十七万円以上。同時に、憲法擁護、消費税増税阻止、原発・核燃廃止、社会保障解体反対、普天間基地撤去、辺野古移設反対、オスプレイ配備撤回など掲げ、春闘決起集会開催日を、2月22日（土）に決めました。

意見をかわす出席者

## 安倍政権の“終りの始まり”

「海外で戦争をする国」目指す稀代の悪法、特定秘密保護法廃案運動は国会終盤まで空前規模に膨れ、強行採決以降も法撤廃を求める声や運動が絶えません。青森県でも青森、八戸、弘前、五所川原を拠点に労働組合、九条の会、市民団体などによる集会、街宣の参加者数は尻上がりに増大。深夜採決翌日の12月7日、青森市内繁華街での抗議・撤廃の昼街宣屁の参加者は30名を超えました。

同法は基本的人権、国民主権、平和主義の基本原理に反する違憲法律。内容と手続きの両面で断じて許せません。「怖い」と、街頭宣伝中によく聞く安倍内閣への通行人の声。国民の良識と怒りに慌てる自民・公明与党。安倍政権の終わりの始まりです。（T）

■最近、読んだ本の中で次のようなことが紹介されていた。「そこでは、みんなが安心して暮らせ、毎日家族一緒に安全でおいしいご飯を食べ、学校には笑い声が響き、一人ぼっちで寂しい人は一人もいなく、動物が大事にされ、世界から信頼され、知らない人同士が『ありがとう』と、言い合える。そんな幸せな国をつくることを、ここに誓います」。■これは、自分が将来暮らしたい社会を創造し、その国のリーダーになったつもりで憲法前文を書いてみるという課題に、とある小学生たちが一生懸命自分の頭で考え、街に出て大人たちに取材し、グループで真剣に話し合って書き上げた、彼らだけの前文とのこと。■これを目にした時、胸がいっぱいになった。と同時に正直驚かされた。私自身はもちろんだが、これほどリアルに「幸せな未来」を、イメージできている大人が、今どれ程いるのだろうかと。■きっとこれは、私たち大人への「メッセージ」であり、「エール」なのではないかと強く感じた。教えられ勇気づけられるのは、いつも私たち大人のほうだ。■また、新たな一年がはじまるが、今度は私たち大人が子供たちを勇気づける存在でいられるよう、まずは「幸せな未来」を決して諦めない事からはじめたいと思う。（ノリ）

## 国民春闘

# 攻勢を強めよう

## 県労連 第30回評議員会

12月14日（土）午後、２０１４春闘方針を決める県労連第30回評議員会を、県教育会館会議室で開催。議席多数を頼み、横暴を重ねる安倍政権に国民・県民の怒りが沸騰し続ける中での評議員会でした。

発言する西北五地区労連の水島評議員

幹事の他に、評議員18名、加盟15団体の参加で成立、議事を進めました。議長団・会議役員を決め、奥村議長が開会あいさつをしました。

奥村議長は「国会終盤に安倍内閣の本質が表れた。強権的な横暴ぶりに国民の怒りは納まらず、内閣支持率は急落。特定秘密保護法強行成立後、共謀罪の新設も言い出す中、法撤廃の声は広がり続けている。亀裂と矛盾を深め窮地に立っているのは、安倍政権の方だ。攻勢を強めよう」と訴えました。

議案提案は、田中事務局長。賃金要求始め、安倍政権と対決軸の諸要求（県春闘共闘会議要求とほぼ同じ）を質疑・討論の後、満場一致で採択。西北五地区労連、県教組、県国公、ひだまりユニオン、県年金者組合、中弘南黒地区労連、三八地労連、東青労連、通信労組、医労連などが活発に発言。他に、第2号議案として評議員選出基準を、より明確な文言内容に改正しました。

評議員会は、普天間基地と辺野古移設に重大な影響をもたらす告示1月12日、投開票19日の沖縄県名護市長選支援カンパを訴えたところ、会場で1万八千円集まりました。

## 年末なんもなで生活相談

### ―2日間で23件―

毎年恒例の「年末なんでも生活相談会」を12月20日～21日の2日間、リンクステーションホール青森で開催。今回は『広報あおもり』に案内を掲載した関係で、事前と当日に問い合わせが数多く寄せられたことが特徴でした。

相談は2日間で去年を上回る23件。「断れず連帯保証人になってしまい悩んでいる」「離婚した相手が再婚したが、子の養育費はどうなるのか」「主人が重い病気で生活が困窮」「悪徳商法の被害にあっている」「借金があるが遺産相続はどうなる」「求人内容と賃金が極端に違う」など、相続・離婚・生活難・介護・賃金など多岐にわたりました。

弁護士、司法書士、社労士、看護師、ケースワーカーなど専門家が相談に応じて、丁寧にアドバイス。生活保護申請や労働組合加入を勧めるケースも。

安倍政権下、疲弊した社会状況の影響で、深刻な相談が多くなっています。

◀相談受付けの様子

## 告発！ブラック企業

### 労働相談ホットライン

12月11日に全労連の全国一斉「告発！ブラック企業・労働相談ホットライン」があり、県労連も実施しました。

当日は、ホテル従業員からの相談がありました。長引く不況と東日本大震災の影響で経営難に陥り、給料半額や遅配、未払いが続いているという深刻な内容。

県労連は、平日9時から17時まで、日常的に労働相談全般の電話を受け付けています。昨年1月から11月まで累計143件。解雇・雇止め、賃金遅配・未払い、パワハラなどが目立ちます。実態は解雇でも、パワハラと長時間労働で心身が病み、辞職に追い込まれる例も少なくありません。これはブラック企業の特徴です。

どんな些細な事柄でも、お気軽にお電話下さい。フリーダイヤル、0120―378―060へ。Eメールは御遠慮下さい。

アドバイスする相談員

## 糸でんわ

**ヨガを習っています。**（十枝内妙子・サンヨーソーイング青森支部）

**仕事は上司の命令が絶対です。**二つ返事でやっています。（笹美子・高教組）

**完治に5カ月かかりました。**雪道に気をつけましょう。（細川弘彦・年金者組合）

**最後の7つ目がなかなか見つけられませんでした。**（長内幸子・建交労家族）

**退職する組合員が多く、**組合員減少が心配です。（後藤順子・私教連）

**雪が大変になりそう。**多く降らなければいい。（記田富子・年金者組合）

**277号と278号が**11月15日過ぎてから一緒に届き、パズル応募に間に合いませんでした。〝クスン〟（宇部妙子・県教組）

**腹が立つ法案ばかり。**怒！怒！です。（村田洋子・年金者組合）

**教採受験になかなか**合格出来ない講師たち。頑張っているのに、なかなか合格出来ない。勉強する時間があればと思います。（木村裕子・県教組）

**私の好きな**言葉を書きます。「もし、私たちが空想化だと言われるならば、救いがたい理想主義だと言われるならば、出来もしないことを考えていると言われるならば、何千回でも答えよう。〝私たちは出来る〟と」―チェ・ゲバラ―（長内一・建交労）

**夫婦で競輪場へ行き、**楽しんでいます。（北国翔子・年金者組合）

**職場は相変わらず目の**回るような忙しさです。（小林孝雄・県教組）

**11・2福島集会に**参加しました。弾丸バスツアーで疲れました。（一戸茂美・自治労連）

**仕事量が膨大。**でも残業だめコール。仕事に付き合う姿勢が、私には理解出来ません。（三浦しのぶ・ひだまりユニオン）

## 第278回 まちがいさがし

ハガキかFAXかメールで回答。氏名、住所、組合名を書いて下さい。余白に職場の様子や最近の出来事などを、ぜひお寄せ下さい。正解者の中から抽選で図書券をプゼゼントします。

●締切＝2月15日
●発表＝3月号
●宛先＝〒030―0852青森市大野字若宮165―19。FAX、メールは欄外に表記。「第278回まちがいさがし」係りまで。

第276回の答えと当選者

《答え》
①ベレー帽
②右端の男性の足
③イチョウの葉
④椅子の上のサツマイモ
⑤左端の女性のスカート
⑥左端の女性の帽子
⑦塔

《当選者》
20通の応募で全員正解でした。当選者は次の方々です。小林孝雄（県教組）、柳谷道弘（県国公）、三浦しのぶ（ひだまりユニオン）十枝内妙子（サンヨーソーイング青森支部）、小笠原久美子（県教組）

あなたの夢は私たちの夢。
だから、かなえたい。
住宅ローン
教育ローン
自動車ローン
カードローン
いいことあーるね！
東北労働金庫青森県本部　青森市本町３丁目3-11　☎017(777)6165